

基本目標 6 <市民協働> 市民一人ひとりのつながりで活気を生む まちづくり

政策 6 市民と行政が協力し持続可能な地域づくりを進めます

政策担当部局：総務企画部、まちづくり推進部

施策 6-1 地域コミュニティの活性化

施策 6-2 情報共有環境の充実と迅速な情報発信

施策 6-3 市内外との交流連携の推進

施策6-1 地域コミュニティの活性化

施策担当部局：まちづくり推進部

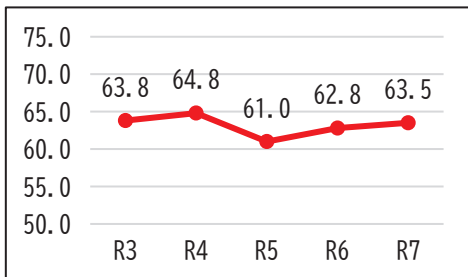
目指す将来の姿

市民が主体となってまちづくりに参画し、さまざまな課題に対して、みんなで話し合い支え合うことによって、持続可能な地域コミュニティが築かれています。

まちづくり指標

「地域コミュニティの活性化」に対する市民満足度

過去5年の市民満足度（点）



現状値
（過去5年平均）

63.1点

目標値
（R12）

69.4点

施策の成果指標

現状値
（直近値）

24団体

目標値
（R12）

27団体

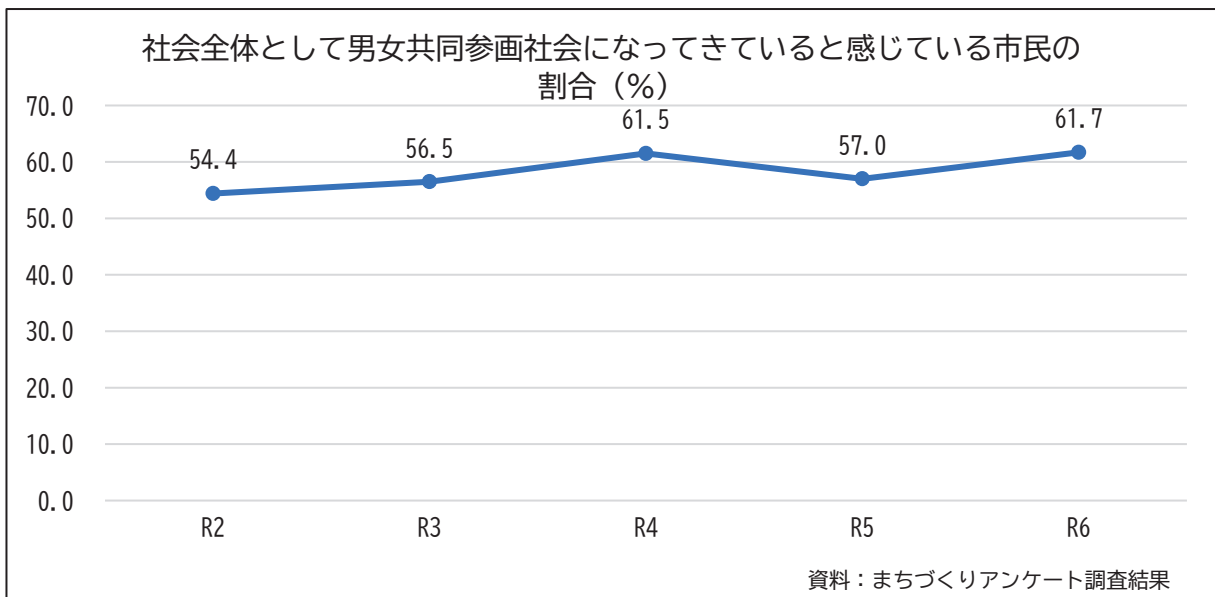
地域運営組織数（累計）

社会全体として男女行動参画社会になってきていると感じている市民の割合

58.2%

65.0%

関連グラフ



現状と課題

- 1 人口減少や少子高齢化に伴い、地域におけるつながりの希薄化や人手不足が進み、これまで行われてきた助け合いや身近な地域課題への対応など、地域コミュニティが担う機能が低下しています。地域住民の自治意識の高揚（我が事化）を図り、町内会や自治会、地区交流センター運営協議会などが取り組む、主体的な地域づくり活動を支援する必要があります。
- 2 地域運営組織（運営協議会）が設立されている地区では組織による事業運営が行われています。組織の全市展開を目指し、未設立地区での組織形成が進められている一方で、既存組織の主体性が求められており、自治意識の醸成が急がれます。地域運営組織の形成を進めるには、地域住民の自治意識を高めることが重要です。既存組織の基盤強化を図るとともに、情報共有の場、学び合い・磨き合いの場を創出し、寄り添った伴走型支援を継続することで、事業内容や運営体制の活性化を促す必要があります。
- 3 依然として、職場・家庭・地域において、性別役割分担意識や無意識の偏見・思い込みが根深く残っている傾向がみられ、「個性と多様性が尊重される誰もが活躍できる社会」の実現には至っていない状況です。すべての人が互いにその人権を尊重しつつ、性別にかかわらずその個性と能力が発揮できる男女共同参画社会を実現することが重要です。そのため、継続的に市民向けの広報・啓発活動や研修会を実施するほか、市が取り組むあらゆる施策を男女共同参画の視点にたって、計画・実施していく必要があります。

取組方針

市民一人ひとりが輝き、自分らしく住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、地域の想いと主体性を尊重しながら、市民と行政の協働による地域づくりに取り組み、地域コミュニティの活性化を図ります。

また、将来にわたって持続可能な地域づくりを目指し、市民による主体的な活動を支援するとともに、地域資源を生かした特色あるまちづくりや、年齢や性別に捉われない誰もが活躍できる社会の実現を推進します。

施策の展開

1 市民主体による地域づくり活動の促進

- 地域住民一人ひとりが主役となり、多様な主体との連携や交流機会を創出する活動を支援し、地域コミュニティの充実につなげます。
- 地域運営組織や市民活動団体が主体的に行う地域課題を解決するための取組や魅力向上に向けた地域づくり活動を支援します。
- 住民による自治活動の維持向上のため、町内会館等の施設整備に対し支援します。
- 地域コミュニティの活動拠点となる集会施設等については、必要な整備を計画的に実施します。

主要事業等

地域づくり支援事業、地域づくり活動補助事業、町内会活動補助事業、集会施設整備補助事業

2 地域コミュニティ活動の拠点づくりと地域運営組織の基盤強化

- 地域のコミュニティ活動の拠点である「地区交流センター」の適正な維持管理と魅力ある施設づくりに努めます。
- 充実した地区交流センター事業運営につなげるため、組織運営の効率化や事業の最適化を推進し、組織の活動基盤の強化を図ります。
- 組織力を最大限に生かせる運営体制づくりを目指し、地域コミュニティを支える人材育成や多様な主体との連携体制の構築を図ります。

主要事業等

地区交流センター費、地区交流センター事業

3 男女共同参画の推進

- 男女共同参画に関する啓発活動や研修会等を行い、固定的な性別役割分担意識の解消に取り組みます。
- 性別にかかわらず、すべての人があらゆる分野で活躍できる社会づくりを目指します。
- 企業や事業所の、多様で柔軟な働き方ができる環境の実現に向けた意識づくりと理解を促進します。

主要事業等

男女共同参画推進事業、自分らしい生き方・働き方推進事業



地区交流センター情報交換会ワークショップの様子

みんなで一緒にできること

- 私たちは、町内会や地区交流センターの事業に関心をもち、自分が地域でできることを見つけ、地域活動へ積極的に参加します。また、時代の変化に伴う課題の解決に向けたコミュニティ形成に協力します。
- 私たちは、一人ひとりが地域の課題や困りごとを見つけ、地域活動を通じて解決に努めます。
- 私たちは、世代間の相互理解を図り、未来の担い手づくりを意識した地域づくりを行います。
- 事業所は、社員が地域活動へ参加しやすい環境を整え、地域貢献活動に積極的に取り組みます。
- 私たちは、家庭・職場・地域において、無意識の偏見を取り除き、固定的な性別役割分担意識の解消に取り組みます。
- 私たちは、性別にかかわらず、すべての人の個性と多様性を尊重し、差別や偏見につながらない地域環境を醸成します。

関連計画

横手市男女共同参画行動計画、横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略

施策6-2 情報共有環境の充実と迅速な情報発信

施策担当部局：総務企画部

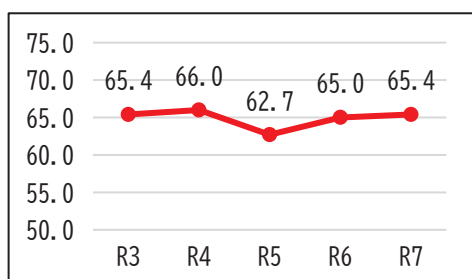
目指す将来の姿

多様な媒体により必要な情報が迅速で分かりやすく共有されることで、誰一人取り残されることのない、より快適な市民生活が実現されています。

まちづくり指標

「広報・広聴の推進」に対する市民満足度

過去5年の市民満足度（点）



現状値
（過去5年平均）

64.8点

目標値
（R12）

71.3点

施策の成果指標

現状値
（直近値）

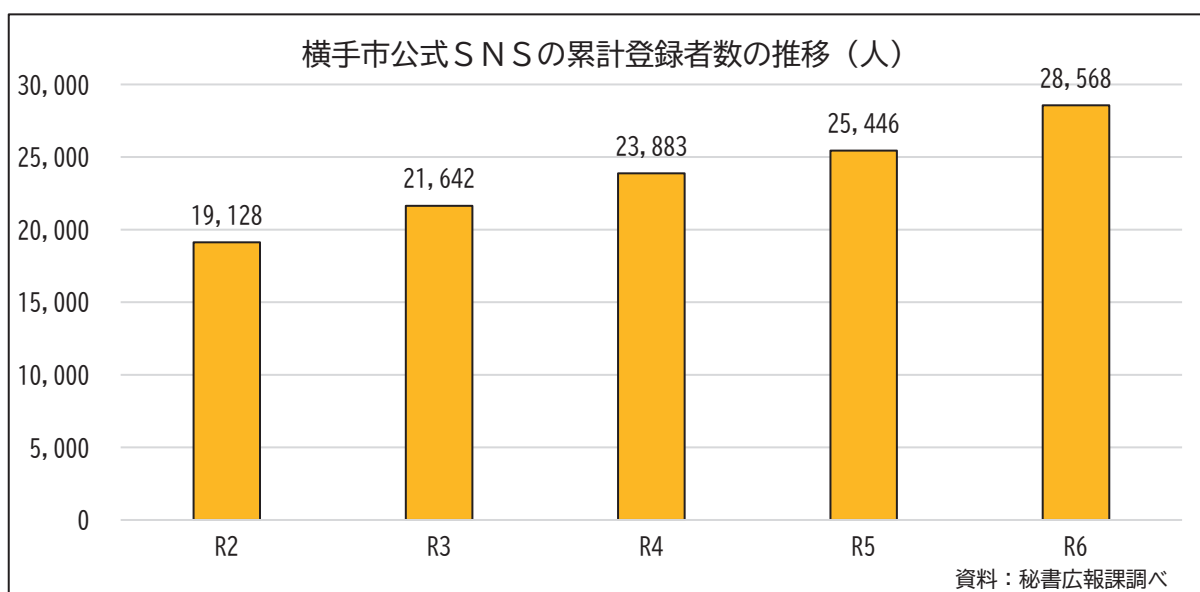
28,568人

目標値
（R12）

34,700人

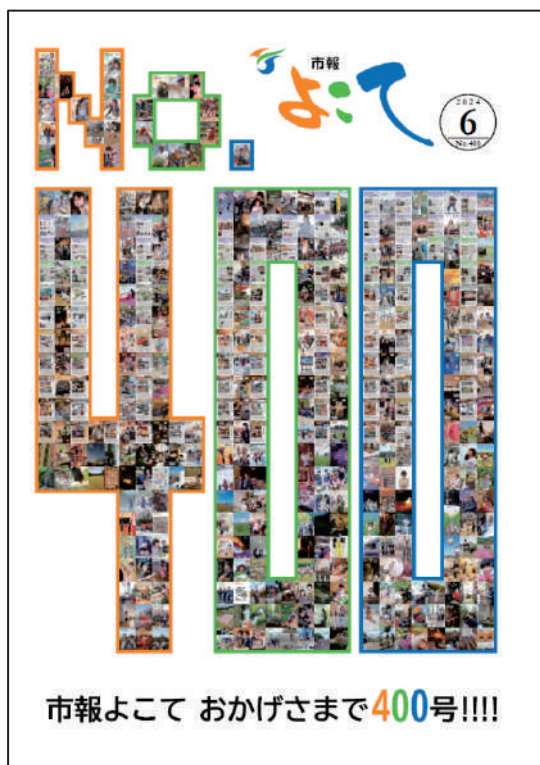
横手市公式SNS登録者数

関連グラフ



現状と課題

- 1 行政に加え、企業や団体、市民からの情報を集約する「横手市情報センター」の機能により情報の一元化が図られています。集約した情報は各種SNSなどを利用することで、市民へこれまで簡単にはできなかった迅速な発信が可能となりました。デジタル技術の活用により、迅速な発信やペーパーレス化に努めながらも、世代の垣根なくサービスを受けることができるよう、引き続き紙媒体も併用するなど、複数の手法による情報発信が必要です。一方で、発信手法の多様化により情報が溢れ、必要な情報を探しづらい状況が生じています。必要な情報を取捨選択できる仕組みの構築が必要です。
- 2 市内の全域で高速インターネットを利用できる環境が整っており、携帯電話通信網についても居住地域のほぼ全域で高速通信が可能となっています。情報通信環境の整備により相当数の高齢者が日常的にスマートフォンを使用していますが、スマートフォンを使用していない方や、操作方法がわからない方もいるため、情報格差を解消していく必要があります。



市報よこて2024. 6月号(400号)



市報よこて2025. 10月号(市制施行20周年)

取組方針

市民へ迅速かつ正確な行政情報を提供することで市政の透明性と信頼性の向上を図るとともに、市民と市政の現状や課題を共有できる環境を充実させます。

施策の展開

1 多様な媒体の特性を生かした広報活動の推進

- 市民が必要な情報を迅速かつ的確に把握できるよう、広報紙やホームページをはじめ、各種SNS、コミュニティFMなど多様な媒体の特性を生かした広報活動を推進します。あわせて、市民と行政が双方向で情報共有を図ることで、市民の地域に対する『誇り』と『愛着』を醸成します。

主要事業等 行政情報発信事業、情報発信戦略プロジェクト事業

2 市民と行政との情報共有

- 市民がいつでも必要な情報を入手できる環境基盤として、市が保有する高速インターネット回線やコミュニティFM中継局を適切に管理します。
- スマートフォン操作講習会やデジタル相談会を開催し、デジタル技術を使いこなせる方と使えない方との格差の解消を図ります。

主要事業等 地域情報通信網管理運営費、コミュニティFM中継局運営費





みんなで一緒にできること

- 私たちは、多様な媒体で発信される情報について、自分に適した媒体を選択し、情報難民にならないように努めます。
- 私たちは、正しい情報を提供し、誤った情報を拡散しないよう心掛けます。
- 私たちは、市の施策実施状況と市や議会が発信する内容に関心をもち、新たな政策や条例の策定に関して意見提出制度（パブリックコメント）に積極的に参加します。
- 市民一人ひとりが地域に有益な情報の共有に努め、横手の行事、魅力を積極的に発信します。
- 事業者は、企業活動を通じてさまざまな機会や方法を活用し、地域のPRを積極的に行います。

関連計画

横手市デジタル推進計画

施策6-3 市内外との交流連携の推進

施策担当部局：総務企画部、まちづくり推進部

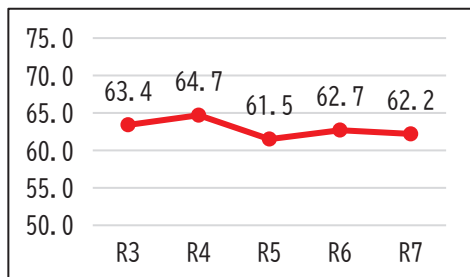
目指す将来の姿

市民が自分の住むまちに誇りを持ち、市内外で活発に交流・連携の取組が行われることによって、新たな地域価値や賑わいが生み出されています。

まちづくり指標

「市内外との連携・交流の促進」に対する市民満足度

過去5年の市民満足度（点）



現状値
（過去5年平均）

62.8点

目標値
（R12）

69.1点

施策の成果指標

現状値
（平均値）

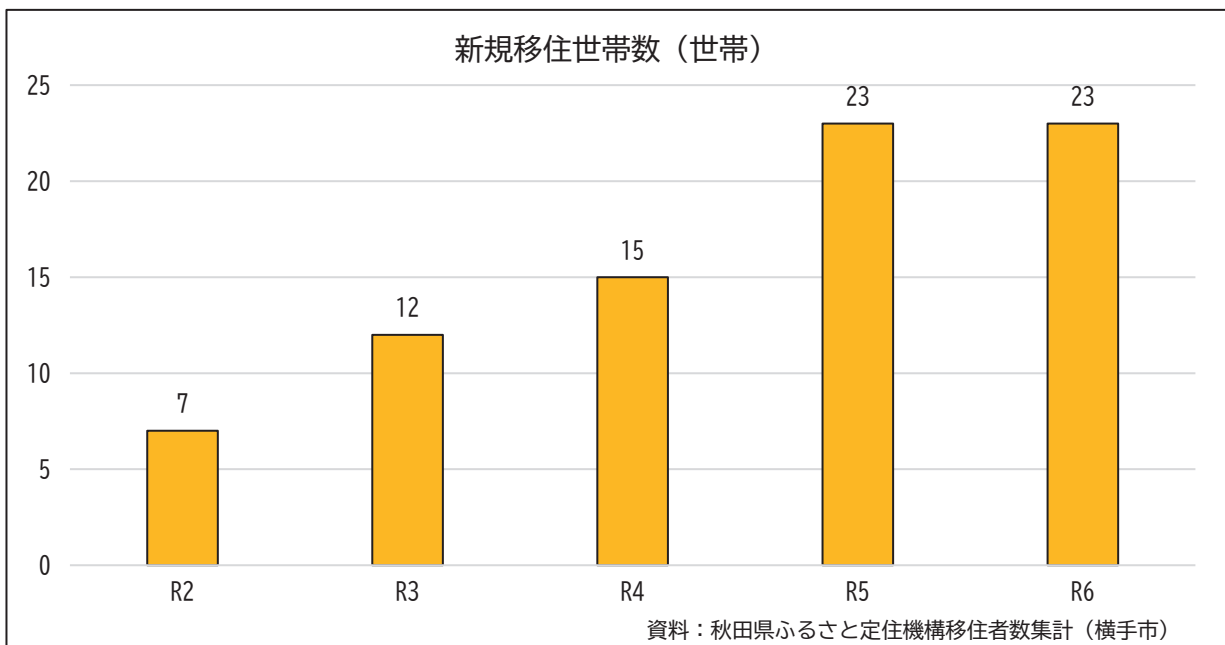
18.3世帯

目標値
（R12）

20世帯

新規移住世帯数（年間）

関連グラフ



現状と課題

- 1 ライフスタイルや働き方の多様化により、仕事を変えずに地方で生活することが可能となっていますが、若い世代の移住・定住の増加には至っていません。若い世代の移住・定住を促進させるため、移住希望者のニーズに対応した相談体制を充実させ、支援を行う必要があります。
- 2 大学等進学で市を離れる若者の多くは、卒業後に横手へ戻っていない状況です。次世代を担う人材確保を推進するため、若者を中心とした地元への定住のきっかけとなる取組が必要です。
- 3 市出身者やその縁故者で構成される各地域のふるさと会会員や、ふるさと納税寄附者など、横手市と様々なかたちでかかわりのある方々がいますが、その人数は増加傾向にあります。持続可能な地域づくりのため、更なる創出と密接な関係性の継続を図っていく必要があります。
- 4 様々な手法で民間企業、大学、地域活動団体等と行政が連携し、まちづくりに取り組んでいますが、少子高齢化、ライフスタイルの変化、価値観の多様化などにより地域課題が複雑化し、行政の知恵や力だけでは対応できない課題が増えつつあり、行政主導の連携では課題解決が難しくなっています。これまで以上にそれぞれのもつアイデアやノウハウ、資源、ネットワークを生かした公民連携により、地域課題の解決や地域の活性化に向けた取組をスピード感をもって進める必要があります。
- 5 国際化が進む社会の中で、在住外国人の方が増えていますが、地域社会の一員として安心して暮らせる多文化共生社会の実現には至っていません。市民の国際理解を深める取組と、在住外国人の方への支援が必要です。
- 6 友好都市とは観光や物産、スポーツやこどもたちの交流など、相互交流が続いていますが、参加対象者が限定的です。全市民が交流事業に参加しやすい取組が必要です。

取組方針

人口減少抑制と地域の課題解決や活性化につなげるため、庁内外の連携による情報発信の強化や総合的な受け入れ体制の充実により、都市部からの若い世代等の移住・定住を促進します。

また、市内外に向けた当市の魅力の発信により認知度・関心度の向上を図るとともに、市内外の方との交流や公民連携の推進により、市民の地域への誇りの醸成と地域の活性化につなげます。

施策の展開

1 移住促進に向けた取組

- 市内への移住を希望する方々の、様々なライフスタイルに応じた支援を行います。
- 移住者同士がつながるきっかけづくりを支援します。

主要事業等 移住定住促進事業

2 定住促進に向けた取組

- 大学等進学で市を離れた若者が地元就職を考えるきっかけとなり、地元産業の各分野で活躍する人材が増えるよう効果的な情報発信を行います。
- 地域おこし協力隊とともに地域力の維持・強化に取り組みます。
- 若い世代が定着し、希望するライフプランを叶えられるよう、若い世代に向けた取組を実施します。

主要事業等 地域おこし協力隊活動事業、若者結婚生活応援事業

3 応援人口への市の魅力発信

- 旧市町村の単位で構成されている各地域のふるさと会への支援と相互交流を進めます。
- ふるさと納税などをきっかけに横手市と何らかのかかわりある方々との関係性を継続しながら、当市への興味・関心がより高められるよう積極的な情報発信を行います。

主要事業等 ふるさと会支援事業、ふるさと納税PR事業

4 共創によるまちづくりの推進

- 民間事業者と行政が互いに対話を進め、新たな事業機会の創出や地域課題の解決につなげるため、民間提案窓口を設置します。

主要事業等 共創推進事業

5 多文化共生の推進

- 地域社会の一員として共に生きていくため、異なる文化をもつ人々がそれぞれの文化を理解・尊重する取組を推進します。
- 在住外国人が安心して暮らせる地域の実現を目指し、生活に必要な暮らしの情報提供や日本語教室を実施します。

主要事業等 多文化共生推進事業

6 他自治体との交流・連携の推進

- 歴史的、文化的にもつながりの深い友好都市との交流事業を継続し、文化や産業など幅広い分野での市民交流や相互協力を進めます。

主要事業等

友好都市交流事業



あつぎ昼走会 厚木・横浜リレーマラソン完走（神奈川県厚木市・横浜市友好都市締結40周年）

みんなで一緒にできること

- 私たちは、一人ひとりが横手の良さや魅力を発見します。
- 私たちは、移住者や市外の方々の声に耳を傾けます。
- 私たちは、横手を訪れる人におもてなしの心をもちます。
- 横手の魅力を積極的に発信し、市内外の横手ファンが増えるよう努めます。
- 事業所は、U・I・Jターンを促すため、横手で働く魅力や良さを発信します。

関連計画

横浜市まち・ひと・しごと創生総合戦略